

# 区政のここをきく

11月20日、25日の本会議にて、一般質問が行われました

## 一般質問要旨

※ 二次元コードから一般質問の動画が視聴できます



切れ目のない聴覚支援の構築／  
駅前空間の賑わい創出について

若林 由季  
(自民党)



若年層から高齢前世代まで、  
切れ目のない聴覚支援の構築に向けて

**問** 大音量による聴力低下、イヤホン難聴に関する現状認識や啓発活動の取り組み状況を問う。また、若年層を含めた早期発見・啓発の取り組みをどのように進めていくのか、区の見解を問う。



▲イヤホン難聴の注意喚起

**答** イヤホン難聴については104か所の健康情報コーナーでチラシを配布し学校でのポスター掲示等で注意喚起をしている。今後セルフチェックリストの提供を行うなど、普及啓発を強化していく。

**問** 難聴者が安心して社会参加できるよう、字幕表示や音声文字変換、要約筆記の活用を広げていくことが重要である。聞こえの困難を抱える方々の情報保障や環境整備について、区の見解を問う。

**答** 今後、来庁者対応やイベント時における合理的配慮のあり方についての区独自基準を設け、周知することで、聞こえに困難のある方への理解を促進するとともに、環境整備に努めていく。

**問** 難聴の早期発見のため、年齢による線引きを見直し、切れ目のない取り組みを進めてほしい。18歳以上を含めた補聴器購入費助成制度の拡充について、現在の検討状況と今後の方向性を問う。

**答** 18歳以上の方については、環境要因による難聴者が増加傾向にあるとの指摘もあり、継続的な支援の必要性を認識している。先行自治体の制度等を参考に、支援のあり方について検討していく。

工事中の安全確保とほこみち制度を見据えた  
駅前空間の賑わい創出

**問** 都市計画道路331号線工事に伴う通行止めについて、現場の安全性の再点検や動線整理と事故防止に努めるとともに、地域の声を反映できるよう警察や町会との連携を強化するよう要望する。

**答** 自動車運転者への注意喚起の看板設置や歩道の切り下げ設置等を進める。関係各所と連携しながら、通行人の安全対策に万全を期するとともに、円滑な交通環境の整備に取り組んでいく。

**問** 南千住駅前の中道区道は歩行者空間としての安全性が確保されており、今こそ道路を地域の活性化に生かすチャンスだと考える。中道区道の有効活用について、区の見解を問う。

**答** 沿道の事業者や南千住警察とも協議を行ったうえで、実証実験としてイベント等による道路空間の暫定活用を行うなど、賑わい創出の場として持続的に活用されるよう、更なる検討を進めていく。



◀南千住駅前の  
中道区道

**問** 国土交通省で創設された「ほこみち制度」では、オープンカフェなど若い世代の発想や地域の力を取り込んだ暫定的な道路の活用ができる。制度の導入について、区の見解を問う。

**答** 地域の皆様の意向や道路の状況、沿道環境を踏まえ、全国の事例を参考にしながら、まちの魅力向上に資する道路空間の活用について、ほこみち制度の導入も含めて検討していく。

### その他の質問項目

- 生ごみ対策の取り組み並びに街中へのコンポスト設置検討について
- 重層的支援体制整備事業について
- 複合的な室内遊び場について



## 小中学校における英語教育の充実／子育て環境の充実について

松田 智子  
(公明党)



### 区立の小中学校における英語教育の充実

**問** 国の制度を活用し、英語の授業を組み立てることができるALTの講師を1校に複数招き、英語教育の充実を図るべきと考えるが、見解を問う。

**答** 外国人英語指導員（NEA）を更に増員し、引き続き研究を重ね、更なる充実に努めていく。

### 子育て環境の充実について

**問** 少子化が進む中、多様な視点による切れ目のない支援が求められており、子育て環境の充実に更に力強く取り組むべきと考えるが、見解を問う。

**答** 「子ども、子育て世代に優しい施設のガイドライン」の作成等、更なる取り組みを進め、引き続き子育て環境の充実に総合的に取り組んでいく。

**問** 潜在保育士の人数等を調査し、再就職のための

研修会の開催やポータルサイトの利用等により、保育士不足の解消に取り組むことを要望する。

**答** アンケート調査の検討、都のセミナーの周知、マッチングの場の提供、ポータルサイト導入の可能性の検討等により、人材確保に取り組んでいく。

**問** 保育に関する資格を持つふれあい館の職員にカウンセラーやコンシェルジュの権限を付与し、子育ての相談体制の充実を図るべきと要望する。

**答** 子育て支援カウンセラーがふれあい館を巡回し、相談対応や職員への助言等を行っている。今後も関係機関と連携し、相談体制の強化を図っていく。

### その他の質問項目

○自動運転バス運行の実証実験の実施



ALTの講師を招き、英語教育の充実を図るべき



## 区長就任1年の総括と来年度予算編成への決意等について

山本 剛

(ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



### 区長就任1年の総括と来年度予算編成への決意について

**問** 区長就任後1年が経過し、この間、区民と直接触れ合い、区民のための施策を続けながら、DXやシティプロモーションの取り組みを一層強化していることを評価する。区長就任1年の総括と来年度の予算編成について、見識を問う。

**答** 区長就任後、できる限り現場に足を運んで各分野の取り組みを推進してきた。限られた財源を区民が必要とする取り組みに重点的に配分する予算編成を行い、初登庁時の気持ちを忘れず、強い決意を持って取り組みを進めていく。

### 人権側面からの税制の改善要望

**問** 子どもへの生存権の側面や人権回復のために

年少扶養控除を復活すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 年少扶養控除は国において定めていくものであるため、今後の動向を注視し、制度改正等が行われた場合には、適切に事務を遂行していく。

**問** 障がい者の自立支援の観点から、軽自動車税の減免拡大を国へ要望すべきと考える。

**答** 必要に応じて都や国に要望するなど、区としてできることについて検討を進めていく。

### その他の質問項目

○国民健康保険料水準の統一と収納率、負担増抑制

○あらかわ遊園の更なるイベントなど運営方針

○区の桜の植え替えについて



人権側面からの税制改善を要望



## 公共施設等総合管理計画全体の 見直し／地域公共交通計画の 策定について

横山 幸次  
(共産党)



### 公共施設等総合管理計画全体の見直しについて

**問** 学校や庁舎等の建て替えについては、公共施設等総合管理計画全体の見直しを行い、「子どもの最善の利益」や避難施設となる小中学校の整備を最優先にして進めるべきと考えるが、見解を問う。

**答** 新たな総合管理計画では、財政負担を軽減・平準化し、実効性のある計画となるよう改定作業を進めていく。学校施設の建て替えについては、区として時期を逸することなく着実に進めていく。

### 地域公共交通計画の策定について

**問** 区はこれまで「地域公共交通計画の必要性は必ずしも高くない」としてきたが、策定の話も出ていたと聞いた。計画の必要性について認識を問う。

**答** 基本構想や都市計画マスタープランの改定の機

を捉え、地域公共交通に係る今後の方針について検討していく。

**問** 地域公共交通、移動に関わる住民のニーズ調査の実施を求める。計画の調査・検討にあたっては、コミュニティバスを含めたあらゆる移動手段を検討対象にすべきと考えるが、見解を問う。

**答** 基本構想や都市計画マスタープランの改定前の段階において、あらゆる移動手段を対象とした交通に関する調査等を実施する予定であり、これらの結果を地域公共交通の検討に活用していく。

### その他の質問項目

○2026年度予算編成における物価高騰対策・区内産業振興、暮らし応援など



◀コミュニティバスを含めたあらゆる移動手段を検討すべき



## 区議会に行こう



◀傍聴のご案内

区議会が開会される本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議当日に区役所本庁舎5階の議会事務局で受付の上、傍聴券を受け取ってください。

### 本会議



区議会の意思決定をする重要な会議です。全議員が議場に集まり、条例制定等の議案など、区の重要な事柄について議決を行います。また、本会議では、議員から区長等に対して、区政についての一般質問が行われます。

### 委員会



区議会で行き扱う事柄は、幅広い分野にわたっており、専門的な調査・審査を行うため、委員会が設置されています。委員会には、常任委員会(4委員会)、議会運営委員会、特別委員会(4委員会)があります。





## 荒川区のブランディング／リユースの促進について

土橋 圭子  
(自民党)



### 荒川区のブランディングについて

**問** 区には看板の観光スポットが少なく、外部の認知度も十分でない。区の強みと弱みを整理し、地域ブランディングに取り組むには、区民や専門家、若年層等の多様な視点が必要と考える。現在の取り組みと魅力発信の手法について、見解を問う。

**答** 基本構想ワークショップにおいて区民の皆様からご意見を伺い、荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会においても活発な議論が展開されている。今後、インスタグラムの活用を中心に、区の温かみある魅力を広く伝えていく。



▲インスタグラム等を活用した魅力発信

**問** 日暮里駅前広場のイベントとふらっとにっぽりや日暮里繊維街のイベントを同日開催する等、街ぐるみで海外や国内の観光需要を取り込むよう要望する。区内在住・在勤の外国人にもSNSによる周知を徹底することで、海外にも情報が届き、来訪客を更に呼び込めると考えるが、見解を問う。

**答** 今年度、駅前広場とふらっとにっぽりにおいて、日暮里繊維街やものづくり事業者等と連携したイベントを同日開催するとともに、SNSも活用して工夫を凝らした周知を行う予定である。荒川区国際交流協会を始めとする様々な関係団体とも連携を図りながら、効果的なPRに取り組んでいく。

**問** 都電沿線のバラは、多くの観光客が訪れる観光資源となっているが、熊野前から町屋駅前までの区間は見劣りするため、区はプランターの大型化やつるバラの植栽を計画した。バラの街をより積

極的にPRするため、早急に実施すべきと思うが進捗状況について問う。

**答** 今年度は線路の北側において、プランターの大部分を容量の大きいものに置き換え、つるバラをフェンスに這わせ、華やかになるよう植え替えを行っていく。線路の南側は来年度実施予定であり、都電沿線のバラ植栽をより充実させ、何度も訪れたいくなるバラの街になるよう取り組んでいく。



◀都電沿いのバラ

**問** 区の公式LINEのメニューを拡充し、区民がもっとわくわくドキドキするような情報発信を積極的に行い、継続的な利用や満足度向上につなげていくべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 公式LINEの周知を強化するとともに、双方向での情報のやり取りや利用者の世代等に応じたプッシュ型の情報提供の仕組みについて検討を進めている。情報発信の一層の強化を図っていく。

### ごみ減量のためのリユースの促進について

**問** ごみ減量のためにはリユースの視点を持った取り組みの推進が必要である。販売会やインターネットでの取り引き等を区が主催し、ごみ減量だけでなく区民の意識を高めるとともに、イベント等で積極的に周知すべきと考えるが、見解を問う。

**答** リユース事業の推進は、ごみ減量を進めるうえで重要な視点であると認識している。区内事業者に対する経営圧迫等の影響なども検証し、効果的な事業展開に向けた検討を進めていく。事業の実施にあたっては、効果的な周知に努めていく。

### その他の質問項目

- 西日暮里地区及び三河島北地区の再開発について
- 小中一貫教育と教育の機会均等について





## 荒川区の魅力発信／ 高齢者の終活について

保坂 正仁  
(公明党)



### 荒川区の魅力発信について

**問** 来年度には基本構想、基本計画が策定されるが、区の魅力発信の方向性について、見解を問う。

**答** 現在、シティプロモーション基本方針の策定を進めており、全力で魅力発信に取り組んでいく。

**問** 区の魅力発信には若者の感性や発想が重要で、参画により地域の誇りも深まるが、見解を問う。

**答** 区の将来を担う若者に、区の魅力を広く発信してもらえるよう、様々な取り組みを展開していく。

**問** 建て替え予定の区役所や学校におけるプロジェクションマッピングの活用について見解を問う。

**答** 屋内外でのプロジェクションマッピングの実現性について調査研究を進め、魅力発信に努める。

### 高齢者の終活について

**問** 終活に向け、高齢者に寄り添った伴走型の家じまいの支援を要望するが、区の見解を問う。

**答** 家じまいについてのニーズがあることは認識しており、終活事業での相談窓口で対応している。

**問** 家じまいの支援事業の需要について、高齢者クラブや町会等へのアンケート調査の実施を要望するとともに、必要に応じて区役所や社会福祉協議会の相談窓口体制の拡充を求めるが、見解を問う。

**答** 関係団体へのヒアリング等を通じたニーズ把握も効果的な手法として認識しており、今後も伴走支援ができるよう、支援体制の充実に努めていく。

### その他の質問項目

#### ○環境問題について



◀ 伴走型の家じまいの  
支援を要望



## スポーツを通じた多分野連携 の推進について

花澤 昭信

(ゆいの会(都民ファースト・  
国民民主・あたらしい党・無所属))



### スポーツを通じた多分野連携の推進について

**問** スポーツを通じた企業の地域参画促進のため、産業経済部と所管部局が連携して取り組むこと。

**答** 関係部署と連携し、企業に対するスポーツイベントの周知啓発等、機運醸成に努めていく。

**問** 「あらチャレ」を通じた区民のスポーツ参加とウェルビーイングの向上について、見解を問う。

**答** ユーザー目線でのアプリ改善に努め、区民の健康増進やウェルビーイングの向上等に取り組む。

**問** 学校体育館の有効活用と、DX技術を含めた施設の予約方法の改良について、区の見解を問う。

**答** 学校建て替えの際には、予約方法や地域利用を想定した施設整備などを検討していく。

**問** 保育現場における運動支援等、子ども家庭部と

所管部局が連携した施策の推進が必要である。

**答** 引き続き子どもの成長に合わせて運動の機会を作り、関係部署と連携を図りながら支援していく。

**問** 障がい者スポーツを通じた相互理解の促進等、福祉部と所管部局が協力して取り組むこと。

**答** 関係機関と連携し、誰もがスポーツに参加しやすい環境づくりや情報発信を進めていく。

**問** スポーツ推進プランの改定に関する検討状況と、地域スポーツの活動基盤の確保や庁内外の連携等、スポーツの推進体制の整備について見解を問う。

**答** 次期プラン策定にあたり、施策体系等の検討を進めている。先行事例の調査や関係部署・企業との連携等、各所と協力して取り組んでいく。



◀ 健康アプリ「あらチャレ」





## 学校建て替え計画の見直し／ 汐入地域の交通不便解消について

相馬 ゆうこ  
(共産党)



### 学校建て替え計画は子ども第一の計画に見直しを

**問** 統廃合・小中一貫校新設については、区民にも議会にも開かれた議論の場を作り、合意形成無しには進めない、吸収・合併は行わないこと。

**答** 保護者への説明会等を実施し、素案作成時期を当初予定から変更した。統合の進め方については、統合の方向性が決まった計画策定後に、地域や保護者による委員会で決めていただく予定である。

**問** 建て替えにあたって、少人数教育の担保を図り、学級定員の小規模化や教員の独自採用等、一人ひとりに目が行き届く環境づくりの提案を行うこと。

**答** 建て替え後の学校ではきめ細かな指導を行える組織体制を整備し、新設する学校では習熟度別や少人数で学習できる教室の設置等、充実を図る。

### 汐入地域の交通不便解消を

**問** 汐入地域の交通の充実のため、都交通局に対し、雨の日の増便や連節バスの導入等、都営バスの上46系統の混雑解消、定時運行を求めること。

**答** 雨の日の増便について、混雑解消等を都交通局に引き続き要望していく。連節バスは現在の道路状況では安全に運行できないと回答を得ている。

**問** タクシー会社との連携や事業の制度化、駅までの道路への屋根の整備等、汐入地域の困りごとの解消と交通の充実に向けた取り組みを求める。

**答** 自家用車を活用した交通手段の確立について町会と協議しており、他の対策も調査研究していく。

### その他の質問項目

#### ○こどもの遊び場や体験の充実



都営バスの混雑解消等を都に求めること



## 学校施設建て替え計画(案)／ 多文化共生社会について

菊地 秀信  
(公明党)



### 学校施設建て替え計画(案)について

**問** バス通学に関する運転手の確保、乗降場所、安全管理の具体的な検討状況について見解を問う。

**答** 引き続き区内の道路や交通の状況も踏まえ、先行事例等を参考に、具体的な検討を進めていく。

**問** 教育委員会所管施設以外の公共施設も代替校舎の検討対象とし、区全体の視点で見直すこと。

**答** 代替校舎の候補地について、民間用地の活用も含め、引き続き関係部署と連携し、検討していく。

**問** 小規模校の特色を生かした多様な学びの保障を建て替え計画にどのように反映するのか。

**答** 施設・設備面や教員体制の充実を図っていく。

### 多文化共生社会について

**問** 外国人区民が主体的に参加する多文化共生イベ

ントを来年度どのように位置付けていくのか。

**答** 具体的な実施方法の検討に加え、様々な国の方々のコミュニティにもアプローチしていく。

**問** スポーツ施設で生じている異文化間摩擦の課題に対する理解促進の仕組みづくりについて問う。

**答** 施設の利用ルールの多言語化等、全ての方が安全で快適に施設を利用できるよう努めていく。

**問** 区の多文化の歴史や背景を学ぶ講演会等を来年度に実施する考えはあるのか、見解を問う。

**答** コミュニティカレッジや講演会の実施等、関連団体と連携を深めながら積極的に取り組んでいく。

### その他の質問項目

#### ○都の財源活用について



多文化共生イベントの開催等を要望



## 高齢者のデジタル支援／(仮称)天王公園における屋根付き運動場の設置について

増田 峰子  
(公明党)



### 高齢者のデジタル支援について

**問** 高齢者スマホ購入費助成金交付事業について、都の補助金の上限を超える希望者数となった場合も、区独自の予算による支援を要望する。

**答** 今年度は約300件の申請を想定しているが、万一申請数が想定を超えた場合も、助成の対象としたいと考えている。

**問** 同事業は都の補助金を活用した単年度事業であるが、今年度限りでは希望者に行き渡らない可能性があるため、来年度以降の事業継続を要望する。

**答** 都が事業を継続しない場合には、現状の申請状況等を見極め、慎重に検討していく。

**問** スマホ購入後のフォローとして、定期的なスマホ講習会や相談会の実施、高齢者同士による学び

と交流の場の設置を求めるが、区の見解を問う。

**答** 区内団体等が実施している教室事業の他に、新たな相談窓口の開設や、高齢者同士がスマホを通して交流できる場所づくりの準備を進めている。

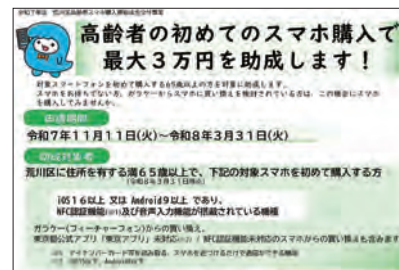
### (仮称)天王公園における屋根付き運動場の設置

**問** 猛暑対策として、南千住浄水場跡地に整備する公園には屋根付き運動場の整備及びミスト装置の設置を要望するが、区の見解を問う。

**答** 南千住浄水場跡地に整備する公園においても、猛暑の中でも快適に利用できる環境確保の対策として、屋根やミスト装置等の設置を検討していく。

### その他の質問項目

#### ○子育て支援について



◀ 高齢者スマホ購入費  
助成金交付事業(チラシ)

## おうちで区議会

※表紙の二次元コードから  
ホームページとYouTubeに  
アクセスできます

インターネットを利用して、ご自宅やお好きな場所から区議会の活動を知ることができます。

### ホームページ

区議会議員の紹介や区議会の活動、会議録、議会日程等をご覧いただけます。本会議の当日には、字幕配信が利用できます。

### YouTube

本会議の映像や委員会の音声等が視聴できます。  
各会議の当日には、音声のライブ配信を行っています。



### 区議会だより

区施設、駅、公衆浴場で配布するほか、区内在住で新聞未購読の方は、ご自宅への配達も可能です。※区報も配達します  
また、ホームページにPDF版を掲載しています。

